

安心して住み続けられるまち 誰も取り残さない北区へ



こんにちは。私の政策・提案をお届けします。
30年近くにわたる都営桐ヶ丘団地建替事業などの
まちづくり政策は、さがらとしこ区議の28年間の議会質問や
取り組みをふまえています。ご意見やご要望をおよ寄せください。

秋山 けんたろう 080-5024-6459

秋山けんたろう HP



はじめに。私は、岸田内閣の敵基地攻撃能力の保有は憲法違反で
あり、大軍拡・大增税に反対です。憲法9条を守ってゆきます。



◇さがらとしこ区議と広島での現地調査をしたり、地域を歩き
ながら、この地域が「軍都」と呼ばれた歴史を学んできました。
現在の学校や保育園、大規模な住宅、自然観察公園、ナショナル
トレーニングセンターも、軍用地を区民の手に取り戻してつ
くられたということ。

◇また、戦争を体験された方からは、「戦争なんて二度として
はならない」と必ず言われる毎日です。

◇実は、私の祖父は広島県江田島市の出身で、親戚には原爆
で犠牲になった女学生(当時14歳)がいたことを知りました。
私は、漫画「はだしのゲン」を何度も読んで育ちました。

◇私は、日本政府が一刻も早く、「核兵器禁止条約」を締結す
ることこそ、被爆者と世界のみなさんへの責務だと思います。
だから、戦争の準備ではなく、平和の道をすすめる政治にして
ゆきます。

<上の写真> 陸軍・広島被服支廠レンガ倉庫：さがら撮影

*現在の赤羽台団地には陸軍被服本廠のレンガ倉庫が。

*北区中央図書館は当時のレンガ倉庫が活用されています。

<下の写真> 広島・原爆ドーム：秋山撮影



◇党区議団の「北区に力を入れてほしい政策」アンケートのトップは、「物価高騰対策」。
私は社会保険労務士の立場からも、つぎのことを政府に求めてゆきます。

◆消費税を5%に減税すること。景気対策のきめて!

コロナ禍のもと、世界では100か国が減税にふみきりました。

◆インボイス制度を中止すること。

フリーランスの声優や小規模事業者に大打撃。将来の増税につながる。

◆最低賃金は1500円に。減らない年金にすること。



さらに……

◇学校給食無償化すべての子どもに
区立小中学校で4月から実現できて、よかった。
憲法26条「義務教育は無償」です。

◆東京都の支援、国の無償化制度実現へ。

◇お金の心配なく、学べる北区に

私立の文系大学では4年間で400万円にも。
奨学金返済に20年間かかる場合もあります。

◆返済不要の北区奨学金制度実現へ。

◇補聴器購入補助制度を急いで

すでに18区が実施。最も充実した制度へ。

◆1台につき補助額68500円を上限に

所得制限の緩和で対象は1000人から。

◇赤羽台のスターハウスなどを
歴史と文化を学び伝える
発信拠点。交流の場に。

●区議会質問でスターハウス存続を求めた、

さがら区議。日本建築学会の要請もあり登録

有形文化財に。この春、隣に「URまちど

くらしのミュージアム」開設。(UR資料館の移設)

●道合遺跡などから縄文時代から陸軍時代の

レンガ倉庫土台も。歴史を学ぶ交流の場に。

◇住み続けられるUR赤羽台に

●UR家賃減免制度拡充と緊急通報の改善求め、
党国会議員団と共にURと国土交省に、2回の要請。

赤羽台西学校改築は新年度から
「居ながら改築」の方針ですが……

◆教育委員会は、新年度からの改築計画を
発表しました。埋蔵文化財試掘調査を見込
み、開設は令和9年9月。

その後、校庭改修工事が令和11年度まで。
課題は「居ながら改築」です。

当面、次のことを求めます。

①子どもたちを含む、丁寧な説明会の開催。

意見、要望を尊重すること。

②工事中の安全対策、運動場の確保、学童
クラブなど放課後の教室や居場所確保など。

③人口増や少人数学級対応の教室確保。

*さがら区議は校地の拡張を求めてきました。
新年度予算に、UR用地1800㎡の購入費計上。

UR賃貸住宅の家賃減免
UR(都市再生機構) 国土交通省 ヒア



子どもたちにやさしいまち 住民合意のまちづくりをすすめます

◇赤羽自然観察公園の湧水と子どもの遊び場を守ります。

10年で完成させると豪語してきた、東京都の補助86号線。さらに5年間、2025年へと延長しましたが、設計に必要とされる地下水調査はいまもつづけられ、解析もこれから。10年以上たっても、住民への説明もおこなわれないままです。東京都に計画の見直し、中止を求めます。

■赤羽台の台地突端に超高層マンション計画 隣には区立児童相談所など子ども施設

北区は3月10日、旧赤羽台東小学校の校地半分をUR用地を一体化して、大手民間マンション業者に売却、引き渡しました。譲受人は三菱地所、住友不動産、近鉄不動産共同企業体。北区は新年度事業として、「譲受人の企画提案内容が計画通り実現するよう、URを含めた3者で引き続き連携してゆく」という方針ですが、ここには区民の姿が見えません。

*29階553戸、95mのタワーマンションの完成は令和10年度(2028年)。

*隣接の北区初の児童相談所等複合施設は、令和8年度(2026年)開設予定です。

北区は、十条、赤羽駅の東西などの駅前に、民間企業と一体にタワーマンションを呼び込む開発計画を押しすすめ、立ち退きを迫られる区民や店舗、商店街も次つぎ。

赤羽駅前、東口で3つの地区計画でタワマン3棟、西口をあわせて4棟。その急激な人口増加による学校や保育園など子ども施設への影響も懸念されます。

◇駅前にタワマン呼び込む大型開発優先の姿勢を見直し、 子どもにやさしい、住民合意のまちづくりへ転換します。

- ◆周辺環境と景観への影響、巨大地震発生への対策、工事中の交通対策など、最新情報にもとづく徹底した情報開示と住民説明会開催を北区と事業者に求めます。
- ◆住民の意見、要望に基づく、計画の見直しを求めます。
- ◆人口急増に伴う学校や保育園などの整備を求めます。

◇北区初の児童相談所等複合施設整備にあたっては、 住民の理解を深める住民説明会や学習会の開催を求めます。 子どもの権利条例にもとづく、最善の環境を整備することを求めます。

児童相談所等複合施設運営指針(中間まとめ)住民説明会

日時:令和5年(2023年)4月27日(木) 19時~
場所:赤羽会館4階大ホール 対象:区内在住、在勤、在学の方
事前申し込み:4月3日(月)~4月24日(月)までに☎・FAX・メールのいずれか
問い合わせ:児童相談所開設準備担当課(4月新設)

☎03-6903-0135 FAX03-6903-0519

都営桐ヶ丘団地の今後の計画と課題 *建替え事業開始は平成8年(1996)
*当初は、6期24年間の計画でしたが、すでに27年。今後は約2千戸の都営建設で、元の5千戸に。新たな商業施設整備や新たな区道建設と中央公園整備などで、R11年までの予定。

2023年3月29日(水)の夕方、東京都住宅整備部は記者発表しました。 ~「北区桐ヶ丘1丁目地区まちづくりプロジェクト」事業実施方針~

*建設委員会など議員には、翌3月30日に北区まちづくり推進課より資料が配布されました。その中から、何点かお知らせします。

◇このプロジェクトは、建替えによって創出された土地、複合B地区に、区民センターや、商業や医療、福祉などの生活利便施設を整備する。歩道や交流の場などを整備する。

◇下図のように、東京都が公募する事業用地は約0.6haで、残りが区民センター用地に。

◇事業者募集要綱等が公表されるのは今年11月頃。事業予定者の決定は、令和6年8月頃。

◇事業用地は都から定期借地で、運営期間は30年間。など。

*なお、区民センターの規模などは、今後の区議会で報告されることとなります。

お風呂のある区民センター、図書館や音楽室、カフェレストランなども、ぜひ。

◇買い物しやすいまち。診療所や介護施設なども身近にあるまち。

◇若い人もファミリーも、高齢になっても、誰も取り残さないまち。

◇安心して住み続けられるまちづくりをすすめて行きましょう。

*皆さんからのご意見やご要望など、どんなことでも気軽に、聞かせてください。

2023年4月 秋山けんたろう ☎・FAX 03-3905-0970

将来位置図 S=1/1,500

